

11/8 火曜

## 受診控えの改善傾向なし

### 日医調査7～8月 小児科3割減続く

新型コロナウイルス

の影響で外来診療など  
入院以外の患者数の減

少が7月、8月は改善  
せず、特に小児科は4  
月以降前年同月比で3

・6%減、8月に30・  
6%減となりました。

減少幅が最も大きかつ  
た5月の45・1%減に  
比べれば落ち着いたも  
の、高止まりしてい  
ます。続いて下げる幅が  
調査は5回目。診療所  
の経営が依然として深  
刻な状態にあることが  
大きいのは耳鼻咽喉科

鮮明になりました。

7月、8月の患者数  
は全体でともに8%

月16・9%減です。  
民間診療所（医療法

人）の4・8月の医業

利益の前年比は、入院  
患者を受け入れる有床

診療所で平均毎月49万  
円（前年比45万円）

4千円、無償診療所で

同121万円の減益で

支援」を求めていま

す。

日医は、患者数や収  
入の減少幅が6月はや

や縮小したもの、7  
月、8月は「改善傾向  
が見られない」と指  
摘。医療法人の利益率

は「水面上ストレスしか  
赤字」で、政府が新型  
コロナ緊急包拠支援交  
付金で設けた診療所の  
支援策（感染防止策を  
講じたことを条件に有  
床200万円、無床1  
00万円）では「十分  
ではない」と強調。国  
に「全体的な追加支  
援」と、小児科、耳鼻  
咽喉科への「集中的な

支援」を求めていま  
す。